

資料 2

教育DX推進部会
現状・課題
出世大名 家康くん

授業における教育DX

- 1人1台端末の活用が日常化し、調べ学習や友達同士の意見共有、振り返りなど、多様な場面で活用されるようになった。
- 目的に応じて使い分ける意識が教職員間で浸透しつつある。

校務における教育DX

- 統合型校務支援システムの導入、文書共有のクラウド化
- 働き方改革と連動したICT活用

教育DXにおける課題

- 業務改善に対する教職員の意識改革
- 学校間、教職員間でのスキルや活用意識の格差
- ICT端末活用率が全国平均を下回る。（全国学力・学習状況調査）

教育DX推進部会
国の動向
出世大名 家康くん

教育DXロードマップ (令和7年6月13日)

- ミッション…「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」の実現
- ビジョン…「学ぶ人のために、あらゆるリソースを」

次期ICT環境整備方針 (令和6年7月31日)

- 誰一人取り残されない学びの保障
- ICT環境の改善、地域・学校間の活用格差の是正、さらなる校務DXの推進

生成AI利活用に関するガイドライン (令和6年12月26日)

- 生成AIの特性を理解し、一定のリテラシーを身に付けた上で利活用することで、教職員の働き方改革につなげていく。
- リスクや懸念に対策を講じた上で利活用を検討する。
- 教育委員会が主導して制度設計や利活用の方向性を示すことが重要

教育DX推進部会

本市の方向性

出世大名 家康くん



子供に学びを委ねる

- ・ICTを効果的に活用して学びの幅を広げ、資質・能力を育成
- ・「自己選択、自己決定、思考錯誤しながら自律的に学ぶ子」の育成

業務の見直しと働き方改革の推進

- ・業務内容や業務フローの見直し、思い切った廃止等を行うことで教育DXを推進し、実感できる業務改善を実現

生成AI利活用

- ・ガイドラインの整備、教職員への研修
- ・教材作成や授業準備など、校務の効率化からの展開



教育DX推進部会

論点

出世大名 家康くん



学びを子供に委ねる授業づくりと教育DXについて

タブレットやデジタルを活用し、子供たちが「自己選択、自己決定、試行錯誤しながら自律的に学ぶ」授業を通して、どのような子供たちの姿を目指していくか。

学校現場における働き方改革と教育DXについて

ICT機器やクラウドを活用し、業務内容や業務フローの見直しや廃止等を行うことを通して、どのような学校や教職員の姿を目指していくか。